

祝 辞

小樽市長

森 井 秀 明



みなさん、おはようございます。ただいまご紹介を賜りました小樽市長の森井秀明でございます。本日は、この北海道小学校長会教育研究大会がこのように多くの皆様ご臨席のもとで、盛大に開催されますことに、心からお喜びを申し上げます。誠にありがとうございます。

本日も雨が降っておりますけれど、台風の被災をされた地域の皆様に対しましてお見舞いを申し上げますとともに、そのようなさなかに、この小樽市にお越しいただき、市民を代表いたしまして、歓迎・感謝の意を表します。本当にありがとうございます。

本日の研究大会はもとより、各地域において子どもたちのために、そして、町のために日頃よりたゆまぬ努力をされておりますことに深く敬意を表しますとともに、感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、小樽市におきましては、本年7月に小樽潮まつりが開催されました。実は本年50周年でございました。この50周年における目玉の取組といたしまして、小樽市内の小中学校全て参加をしていただき、踊りねり込んでいただくという取組が今年目玉の取組でございました。おかげで全校に参加していただき、1万人規模のねり込みを行うことができ、非常に活気のあるお祭りとなりました。子どもたちのエネルギーが、町の活気へと結び付くことを目の当たりにし、私としても大変うれしく感じたところでございます。この取組に向けて、ご協力をいただいた校長先生の皆様に対しましては、改めて感謝の意を表する次第でございます。

小樽は、先程来お話がありますように、歴史深い街であります。当時、鯨が多く捕れ、これが質の良い肥料と

して金肥（きんぴ）と呼ばれておりましたけど、大きな財をなすとともに、石炭をこの小樽の港から全国へ、また世界へと売ることにより、小樽市を中心として北海道全域への経済発展となったその拠点となる地域でございます。

この歴史、文化、そして自然豊かな小樽の街において、このような研究大会が行われることに際しまして、私としても大変、心強く感じているところでございます。

研究における皆様の充実、さらには研鑽はもちろんのことではありますけれど、この2日間において小樽の街並みを改めて感じていただき、そして北海道の経済発展の拠点となったこの歴史について、皆様の地域において子どもたちに改めてお伝えいただいたり、またそれを知る機会を設けていただきましたら、幸いです。これからも小樽においては、子どもたちそして教育力の向上に向けて、市政としても、しっかりと力を注いで参りたいと思っておりますので、皆様からのお力添え、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びになりますけれど、このように多くの皆様一堂に会する交友の機会として小樽は、お寿司をはじめ、スイーツや焼き肉、あんかけ焼きそばなど、非常においしい物がたくさんあります。皆様にとって、交友の場としても、良い時間になることを祈念申し上げまして、そして、北海道小学校長会がますます繁栄されますこと、本日ご臨席の皆様一人一人のご活躍、ご多幸、ご健勝を祈念申し上げます。大変簡単でございますけれど、本日の大会にあたってのお祝いの挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。